

会 議	令和6年度 第1回幸田町総合教育会議 議事録
日 時	令和6年7月4日(木) 開会 午前9時 閉会 午前9時50分
場 所	幸田町役場4階 第3第4委員会室
構 成 員	町 長 成瀬 敦 教育委員会 教育長 池田 和博 教育委員会 委 員 壁谷 昭代 教育委員会 委 員 中西 雅俊 教育委員会 委 員 穂吉 沙織 教育委員会 委 員 佐野 康晴
欠 席 構 成 員	教育委員会 委 員 中西 雅俊
傍 聴 者	なし
構成員以外の出席者	企 画 部 長 内田 守 企 画 政 策 課 長 柴田 淳一 企 画 政 策 課 主 幹 石川 純子 企 画 政 策 課 主 事 河村 令子 住 民 こ ど も 部 長 三浦 正義 こ ど も 課 長 鈴木 雅也 教 育 部 長 菅沼 秀浩 学 校 教 育 課 長 加藤 宏和 学 校 指 導 担 当 課 長 近藤 克幸 学 校 教 育 課 主 幹 斎藤 久美子 教育部次長兼文化スポーツ課長 夏目 守雄
会議に付した案件	○議題(1) 南部中学校内部改修事業について ○議題(2) 幸田町町村合併 70 周年記念デンソーブライトペガサス によるソフトボール教室について
決 定 事 項 及 び 主 な 意 見 等	○議題(1) 特になし ○議題(2) ・小学生だけでなく、幅広い年代の子どもたちにもプロ の選手に指導していただける機会を与えて欲しい。 ・スポーツに興味関心を持った子どもたちがやる気になっ た時に、興味を持った子どもが本当に力を発揮できるよ うな場が欲しい。

発言者	発言の主な内容
企画部長	○開会の言葉
町長	<p>○挨拶</p> <p>庁舎敷地内の木を切っているが、10月19日の記念式典までには公園化をする。農福連携というテーマで、地域障害者福祉センターの方々が、IT業界と組み、そこで作物やaiboをモチーフにしながらいのスポットを作る計画で、ミニストップ公園を作りたいと思っている。またキッチンカーも定期的に入ってきていただいて、職員や住民の皆様方に憩いの場を提供する公園づくりが、秋まで続く。立派な大木を切り、もったいないという意見もあるが、近くを子どもたちが通ると、台風等の影響で木がよく落ちていることがある。将来的に幸田中学校からこの役場にかけての地域の景観を改めていくのが自分の仕事ではないかなと思っている。森と緑という視点は大切に思っており、5月の末日にSDGsの未来都市の認定をいただいた。愛知県内の町村の中では一番にSDGs未来都市を取得した。テーマが、森林サービス産業ということで、山の中に入って、子どもたちが教育、体験、そして観光地など、林道や里山の復活を目指す。山の中の営みで体験して、将来のために森水緑が大事だということを、小さいころから体の中に浸透させていくのも必要ではないかということで、SDGsの未来都市の認定としていただいた。本日の、協議事項は議題が合併70周年記念事業デンソーブライトペガサスによるソフトボール教室について及び南部中学校の内部改修事業についてである。こちらの方を議題としながら総合教育会議の方を進めていきたいと思っている。</p>
教育長	<p>○挨拶</p> <p>梅雨の合間ということで本日も気温が35度以上になることが予想されており、このような日は学校では、熱中症の対策をしながら、教育活動を進めていくということになる。普段よりも一層、児童生徒の様子に気を配りながら教育活動を進めていく。学校に勤めていたころに、1ヶ月ほど文部科学省が主催する研修に出席したが、そこでは学校内で起こり得る様々なリスクに対する対応について、深く勉強ができ、実際に記者会見等も行いながら、どのようにそのリスクに対応していくかを学んだ。例えば、野外活動キャンプに出かけていった時に、子どもが山道で足を滑らせていなくなった、或いは中学生が何らかの理由があり、自殺したとする。それらに対して、学校側がどう対応していくかということが議題であった。リスクを負わない最大の方法は、児童生徒が学校に来ない、或いは学校で行事を行わない、ということだが、それでは全く教育活動にならないので、学校は常にリスクを背負いながら教育活動を実践していくということになる。従っ</p>

	<p>て、そのリスクをあらかじめ予想してそれに対応すること、また、リスクが起きてしまったときにどう対応するかについてを事前に職員が知っておくことは大事。幸田町では幸いなことに、町長部局と教育委員会は、日頃から情報交換をし、共通理解を図りながら、様々な教育施策を進めている。今後起こりうるリスクについても、事前に施設設備の対応、或いは教育活動の工夫についても、話をしながら進めているので、とても心強い。本日のこの総合教育会議も、学校と町と共通理解を図りながら、教育施策をますます、しっかり進めていく一助になればと考えている。</p>
企画部長	○総合教育会議の概要について説明
町長	○議題(1) 「南部中学校内部改修事業について」 学校教育課に説明を求める。
学校教育課長	<p>相見地区の土地区画整理をはじめ、各地区の土地区画整理などの土地開発により、幸田町の人口は増え、町内の児童生徒数は令和4年度、令和5年度の4,306人でピークを迎えた。それに伴い、35人学級への対応も含めて、校舎増築整備をしてきた。平成28年度については、幸田小学校の増築に始まり、坂崎小学校、北部中学校、中央小学校、豊坂小学校と北部地区から中部地区へと順次増築を行ってきた。南部地区の児童生徒数の状況については、深溝小学校区で令和10年度、南部中学校区で令和11年度にピークを迎える予想となっており、本年度については、昨年度から引き続き深溝小学校の増築、それと今回の南部中学校の内部改修を行う。今年度の工事にて、平成28年度から行っている校舎の増築改修については、一段落を迎える。今後については、小学校の体育館空調やトイレ改修における洋式化を順次進める。南部中学校の改修については、現在、中学校第1学年では35人学級、第2第3学年では40人学級だが、将来、第2、第3学年でも、35人学級になることを予測して、普通クラスを3クラス増やし、各4クラスの12クラスが対応できる整理を行っていく。それに伴い、教員増に対応するため、職員室の拡張、更衣室及び倉庫の増築を行う。図面の①、増築工事と書いてあるところが、更衣室兼倉庫の増築場所となり、また、生徒増に対応するため、駐輪場の55台分の増設も行う。図面の②が、駐輪場新設の場所となる。工事時期は、主な工事は夏休みに整備を行う。9月以降も、学校運営に支障の少ない範囲内で施工し、工期については12月10日となっている。</p>
町長	○説明に対する意見聴取
佐野委員	○質問

	<p>将来の 35 人学級に向けて普通教室を増やすということだが、以前南部中は各学年 3 クラスだったが、そのスペースは今は特別支援学級や少人数など、そちらの方へ回っていて教室が足りないということか。</p>
学校教育課長	<p>南部中学校については、現在も 3 学年が各 3 クラスで 9 クラス、特別支援教室が 3 クラスとなっていて、ピーク時の対応として、今は特別支援教室が 1 クラスずつ使っているため、それを開閉式の壁をつけることで教室を生み出し、また、視聴覚室が現在あまり使われていない状況のため、そちらを多目的教室で使えるように、仕切ることができる状況。また、今、進路指導室として使用している教室を開放することで、1 学年 4 クラスの 12 クラスを確保するような改修を夏休み中行う。</p>
町長	<p>○議題(2) 「幸田町町村合併 70 周年記念事業デンソーブライトペガサスによるソフトボール教室について」 こども課に説明を求める。</p>
こども課長	<p>幸田町では、子ども会への加入者や活動に積極的な子どもたちが年々減少しており、その活性化とソフトボールをはじめとするスポーツへの興味関心をもってもらうため、町村合併 70 周年記念事業として、ソフトボール教室を開催する。この教室は、株式会社デンソー幸田製作所様の協力を得てソフトボール実業団のデンソーブライトペガサスの選手を招いて行う。デンソーブライトペガサスは 1960 年に創部され、全日本総合選手権や日本女子ソフトボールリーグでの優勝実績を持つチーム。現在も女子ソフトボールのトップリーグである、ジャパンダイヤモンドソフトボールリーグで活躍している。同チームは、小中学生を対象とした講習会や保育園訪問など、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。このソフトボール教室は、8 月 16 日にとぼね運動場で、午前 8 時 30 分から 12 時 30 分まで開催し、対象は小学生で子ども会のソフトボールチームに加入している子や、加入していなくても、ソフトボールに関心のある子も参加できる。参加費は無料、子ども会から約 105 名、一般から 20 名を募集している。応募多数の場合は抽選を行う。ソフトボール教室のプログラムは超初心者、初級、中級の 3 つのコースに分かれており、各コースに応じて、技術向上を図る。プログラム内容には投球練習だけでなく、守備練習を考えている。さらに、お楽しみゲームを 1 時間とり、ベースランニングリレー、ティーバッティング競争を考えている。資料ではベースランニングリレーは教室でと考えていたが、今現在はお楽しみゲームとして実施しようと考えている。参加者にはデンソー幸田製作所のマスコットキャラクター「こうみちゃん」のグッズを配布し、お楽しみゲームで優秀な成績を収めた方には、デンソーブライトペガサスのグッズを送る。このイベントの周知方法としては、広報 7 月号への掲載、ホームページや幸田町 LINE での告知、各学校へのイベントチラシの配布、各公共施設でのチラシ掲示をしている。募集方法は、子ども会用と一般用に分かれており、子ども会用は各チー</p>

	<p>ム、最大 15 名まで参加可能で、QR コードを用いた電子申請で行う。一般用も別の QR コードでの電子申請を用意している。広報 7 月号やホームページ、幸田町 LINE、イベントチラシに QR コードが添付している。応募人数が多数の場合は抽選で参加者を決定する。ソフトボール教室は、子どもたちがスポーツに親しみ、仲間と楽しく活動するきっかけとなる貴重な機会であり、多くの子どもたちの参加を期待している。</p>
町長	<p>○説明に対する意見聴取</p>
穂吉委員	<p>○意見 対象は小学生ということで、子ども会のソフトボールチームに加入している子だが、これは中学校のソフトボール部には案内はしないのか。この対象年齢を小さくしているというのは、何か意図があるか。</p>
こども課長	<p>中学生の方にも体験していただくことが、ベターだと思うが、同じようにやる場合に、レベルの差があり危険ということで、子ども会の活性化という意味合いで、今回は小学生に限定させていただいた。</p>
穂吉委員	<p>○意見 コースは超初級、初級、中級の 3 つに分けても、中学生は難しいということか。</p>
こども課長	<p>人数の関係もあり、そのように考えている。</p>
穂吉委員	<p>○意見 中学校のソフトボール部はソフトを一生懸命にやっている子たちでもあるので、実際に中学校の部活でソフトボールをやっている子の姿を見るということも、小学生のソフトボールを経験している子には、とてもいい機会になるのではないかと思うので、レベルの差とかではなく、プロの選手に直接触れ合う機会をなるべく多くの子どもたちに与えて、夢や、希望、キラキラしたプロ選手というのを、近くで見せてあげるのが最大の目的だと思うがどうか。</p>
教育長	<p>小中学校では、デンソーから、何か教室を開きたい場合については、申し出をすれば対応してくださるという案内をいただいている。実際に昨年度、一昨年度と、小学校の授業でバスケットボールを教えていただいたので各小中学校で対応していく。今回こども課が、小学生を対象にということであれば、中学校のソフトボール部の方もまた検討していく。昨年度、フタバ産業が野球教室を開くということで、秋にとぼね運動場で 3 中学校の野球部を招いて野球教室をやった。フタバ産業の中には、甲子園に出場したような選手もいて、バッティングの練習を見るだけでも子どもたちは感心していた。多くの選手が来てくれて、中学生の子たちにとって一番よかったと思うのは、それぞれのポジションに分けて、どういう捕球の姿勢で取るといいなど、小グループで丁寧に教えていただけた、ということであった。自分の守備の形やグローブの使い方について一流の選手から教えてもらったのがすごく勉強になったという感想があり、とてもいい経験になったと思った。小学生の子ど</p>

	<p>もたちも一流の方に教えてもらえることが素晴らしいことなので、自分ももっと頑張ろうと思ってもらえると、このソフトボール教室の価値がもう少し高まると思う。全体を見ただけだと、満足せずに終わってしまうのでできるだけ中に入って一緒に会話しながらやれるといい。</p>
こども課長	<p>参加選手は、約13名と聞いているが、どなたが来ていただけるかまではまだ決定していない。教育長の方から、個別に指導していただくと子どもにとっては良い経験になるということで、ベースランニングリレーは選手もその中に入ってもらいながら、声をかけてもらうということを考えている。指導で、声をかけたり褒めてあげるのはとても子どもも喜ぶので、上手な選手の方から声をかけていただくことは子どもにとっては大切な経験になると思うので、なるべく声掛けをお願いしていきたい。</p>
町長	<p>中学生にも、活躍している選手で幸田にゆかりのある選手も多いので、ぜひ実現できる形を整えたいと思う。</p>
壁谷委員	<p>○意見 スポーツに興味関心持って、子どもたちがやる気になろうと思ったときに、興味を持った子が本当に力を発揮できるような場が欲しい。中学校の部活動も地域移行ということで、時間数も厳しく日数も少なくなっている中で、子どもたちが、エネルギーを発散して、打ち込める機会と場所が提供できるといい。</p>
町長	<p>小さいころに、プロの選手の技を間近で見て、感化されて、自分ももしかしたらなれるかもしれないという感動は小さいころしかないと思う。そういう人を目の当たりにしてみられる機会を作ることは意味のあることだと思う。</p>
穂吉委員	<p>○意見 子どもたちも、そのプロの先生に教えていただくと、その人が出ている試合を見に行こうという気持ちが芽生えるので、そこでまたそのスポーツを知る機会になると思う。</p>
町長	<p>ソフトボール大会の参加チームも少なくなったように思う。子ども会自体に入らない子も増えた。</p>
穂吉委員	<p>○質問 子ども会に入らない理由は何があるか。</p>
こども課長	<p>親や役員の負担が大きいことが原因と考える。</p>
町長	<p>学校現場でのPTA活動も必要だと思うが、PTAは任意組織か。</p>

教育長	<p>P T Aは任意組織。教育は、家庭教育、学校教育、それから地域教育がセットだと考える。保護者と、先生方と一緒にあって、教育活動を進めていくことは最も大事。ただ最近、P T Aのその理念が大事という考えではなく、何かの行事に出ていくのが面倒くさい、などがある。子どもの教育活動に関わる部分は、できるだけ参加していただけた方がいいと思う。子どもに関わる部分を、P T A活動が面倒くさいからやめるとするのは、悲しい感じがする。自分の子どもにしっかり関心を持ってもらって見ていただきたいし、一緒に活動していただきたい。</p>
町長	<p>本日は貴重な御意見をありがとうございました。事務局にお返しする。</p>
企画部長	<p>○次回の開催予定 第2回は11月2日（木）午前9時から開催を予定している。 以上で、本日の総合教育会議を閉会とする。</p>
副町長	<p>本日はお忙しいところお集まりいただき、大変慎重に審議をいただきましてありがとうございます。本日は南部中学校の内部改修事業についてと、デンソーのブライドペガサスによるソフトボール教室についての2点でした。ソフトボール教室につきましては他のスポーツや、また、P T A活動に拡大してご意見を賜りまして大変ありがとうございます。今後の計画、実施に、反映していきたいと思っておりますので、ありがとうございます。それでは以上をもちまして、令和6年度第1回幸田町総合教育会議を閉会といたします。大変ありがとうございました。</p>